

2016年度初の全体行事、楽しんでいただけましたか？

仲嶺 真弓

2016年度のトップ行事の親子まつりを開催しました。

参加者は、総勢 139 名（園児：58名 父：20名 母：40名 祖父母：2名 小学生：19名）

参加世帯は、79世帯中 49家庭

当日は曇り空。職員は「雨、もつよなあ…」と呟きながらの朝のスタートでした。オープニング途中で、パラパラと小粒の雨が…。ドキドキしながらも何とか終了まで本降りにはならず無事終わることができました。今年度の親子まつりは、「親子で園外散歩に出かけて普段の保育を知ってもらおう」を一番の目的にし、いつものお散歩コースや、散歩の道中で子どもたちにどんな言葉かけをしているかなど、日頃職員が大切にしていることを知ってもらえればということの内容を考えました。行事をより面白くできればとカンガルーの会レク係のメンバーの方にも案と一緒に考えてもらい、散歩コースの地図作り、散歩先でのスタンプラリーや宝探し、メダルなどを盛り込んだことで、子どもたちの笑顔を増やすことができました。ご協力ありがとうございました。

実際、参加してみた内容はどうだったでしょうか？ また感想をいただければありがたいです。参加した方から、「楽しかった。」「この年齢でこんな距離を歩けることに驚いた。」という感想が多く聞かれたので、職員一同ほっと肩をなでおろしています。行事終了後の職員報告会では、お父さんの参加も多く、遠出のコースではお父さんならではの的確なサポート（危険箇所を察知して誘導してくれるなど）をしていただいたことに保育士はただただ感動。お母さんたちは、下の子を抱っこしている人やバギーを押している人に「代わるよ。」と声をかけあっていたり、我が子だけでなく、「片方の手があいているから一緒に手をつないであげるよ。」と他の子と手をつないでくれていたりしたと聞き、何気ないサポートが自然にできる保護者関係が嬉しく、心温まりました。

次回の行事も心を込めて企画していきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

【 避難訓練をしました 】

年に一回、消防署職員立ち合いの元、避難訓練を行っています。今回は震度7の地震が起こり、給食室から出火。ライフラインはストップしたという想定で行いました。結果、消防士の方の評価は悪くなかったのですが、訓練後に安全委員会議（職員数人で構成しています）でそれぞれの部署で想定したことが全体的にはどうだったのか検証しました。同じ内容の避難訓練でも、多様な対応策を考え、繰り返し行うことが大切なこと。園舎の設備も、もしもの時に対応できるよう全職員がしっかり把握しておくことが大切と感じました。

安全委員のリードで、今後も毎月1回の自主避難訓練と、園舎や保育器具の危険箇所などないかの見回り確認をしていきたいと思っています。